

- まちづくりの検討の場に参画している多様な主体と連携し、それぞれの持つ知識や人脈を活かすことが重要。

知恵袋 多様な主体が協調関係を作り上げながら高齢者等にとって利便性の高いバス導入を実現

⇒ **医療機関が中心となって導入した中心市街地活性化循環バス【青森県五戸町】**

- ・青森県五戸町では、地域の開業医らが中心となり、医療機関と中心商店街を循環するバス導入を検討した。取組にあたっては、歯科医院や調剤薬局などの医療機関や中心商店街など、多様な主体に参画を呼び掛けた。
- ・このように多様な主体との協調関係を作り上げたことで、車を使えない高齢者にとって利便性の高いバスを実現することができた。

知恵袋 民学連携体制が、迅速に理論を実践に移す原動力となった

⇒ **中心商業地区活性化のため、商業者が主体となりバスを運行【京都市】**

- ・理論や専門知識を有している学識者と人脈を活かして理論を実践に移す行動力を持った商業者が一緒になって取り組むことで、よるバスの検討から運行に至るまで、迅速に行うことができた。